

対象年度		令和 3年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート											
事務事業名		健康マイレージ事業						予算事業名		健康マイレージ事業費					
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	持続可能な医療保険制度を構築するための 国民保健法等の一部を改正する法律					
				04	01	04	2101	経常経費							
総合計画体系		1ともに支えあい，安心して暮らせる社会福祉の充実(保健・福祉)						事業の区分		主要事業					
		1-1健康で安心して暮らせる保健福祉の充実（健康・医療）								重点事業					
		①健康づくりの推進						担当課係等		健康増進課					
		1健康づくり活動の推進								健康増進係					
事業期間		継続（平成29年度～ 年度）													
【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】								
市民が健康で生きいきとした生活が送れるよう，各自自主的に健康づくりに取組める。							平成26年6月議会において，市民の健康づくりを後押しすることを目的とした健康ポイント制度の導入の要望があった。								
【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】							【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】								
健診・がん検診チャレンジとして，自分の健康状態を確認するために健診を受ける。 健康づくりチャレンジとして，自分にあった健康づくり(運動・食事・歯科)を二つ選び実践する。 チャレンジ達成者に対し達成賞を交付する。							20歳以上の市民								
							【事業をとりまく環境の変化】 小山市では，市民の健康づくり，地域交流，社会貢献に関する事業を通じて，毎日の生活を健康で豊かなものとするよう，「開運おやま健康マイレージ」事業を平成27年6月よりスタートさせた。 県内では，17か所実施しており，30年度から6か所開始予定。茨城県においても，平成31年度4月より，ヘルスケアポイント実施する。								
【令和 3年度 事業内容】				【令和 4年度 事業内容】				【令和 5年度 事業内容】							
健診・がん検診チャレンジとして，自分の健康状態を確認するために健診を受ける。 健康づくりチャレンジとして，自分にあった健康づくり(運動・食事・歯科)を二つ選び実践する。 チャレンジ達成者に対し達成賞を交付する				健診・がん検診チャレンジとして，自分の健康状態を確認するために健診を受ける。 健康づくりチャレンジとして，自分にあった健康づくり(運動・食事・歯科)を二つ選び実践する。 チャレンジ達成者に対し達成賞を交付する				健診・がん検診チャレンジとして，自分の健康状態を確認するために健診を受ける。 健康づくりチャレンジとして，自分にあった健康づくり(運動・食事・歯科)を二つ選び実践する。 チャレンジ達成者に対し達成賞を交付する							
■事業費															
				R01年度		R02年度									
財 源 内 訳	国	庫	支	出	金	0	0								
	県		支	出	金	0	0								
	地		方		債	0	0								
	そ		の		他	0	0								
	一		般	財	源	720	895								
歳入計（千円）				720		895									
歳 出 内 訳	節（番号＋名称）				金額（千円）		金額（千円）								
	07	報償費			440		600								
	10	需用費			269		269								
	11	役務費			11		26								
歳出計（千円）（A）				720		895									
伸び率（％）						24.30									
備考	総合計画 49ページ 予算書 106 ページ														

令和元年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R01年度	R02年度	R03年度
活動 指標	健康マイレージ事業の周知活動回数	回	目標	10.00	10.00	10.00
	健康マイレージ事業への参加を促すために広報活動を行う。		実績	15.00	0.00	0.00
			目標	0.00	10.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	健康マイレージ目標達成者数	%	目標	300.00	300.00	300.00
	目標を達成した者の数		実績	188.00	0.00	0.00
	新たに健康づくりに取り組んだ者	人	目標	200.00	200.00	200.00
	事業をきっかけに新たな健康づくりに取り組んだ者の数		実績	143.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	市民の健康づくりに対する意識の醸成するため必要な事業である。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	市民の健康づくりを支援するのは行政の役割である。
	手段の妥当性	A 妥当である	健康づくりきっかけとして妥当である。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらも言えない	目標達成者が約190人と少なく、現時点では効果が低い。
公平性	受益者の偏り	B どちらも言えない	事業は全市民を対象としているが、事業への参加者で見ると、地域・年代に偏りが見られる。
有効性	成果向上の余地	B どちらも言えない	50代までの働き盛りの参加が少ないが、この世代を取り組むことで成果の向上が期待できる。
進捗度	事業の進捗	C 遅れている	事業への参加者（目標達成者）が188人と低迷している。しかし事業を機に健診・検診の受診した者も13人おり、市民の動機付けとして期待はできる。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
当該事業は健診等の受診13人、新たな健康づくりへの取組み143人と市民が健康づくりに取り組むきっかけとしては、良い事業であるが、紙ベースからデジタル化など若い世代が参加しやすい環境の整備が必要である。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
現在60代以上の参加者が6割を占めており、若い世代への普及が必要であり、県の「元気アップ、いばらき」（スマートフォン等のアプリ）への統合や独自にアプリを作成することも検討が必要と思われる。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ■ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
方向性の具体的内容 高齢者への対応は現状維持とし、若年層に対する健康づくりや健診受診率向上のため、茨城県「元気アップいばらき」への統合を検討する必要がある。	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。関係機関等との調整により進める。	